



野菜市況情報はコチラ



JA 香岐市 公式 LINE



JA香岐市公式YouTubeチャンネルはコチラ



Fureai ふれあい

JA香岐市

No.694
2023.OCT

10



表紙説明はP5





いちご部会

メロン部会

通常総会・春メロン出荷反省会

(9月1日・ステラコート太安閣)

合同開催

より一層の品質向上と収量拡大を図り、強い産地作りに励む

4年産は、生産者30名、作付面積318.1㍍で栽培。反当収量17,233パック(250㍍^ラ) (前年比106%)、販売金額531万8千円(113.7%)、1㍍^レ単価1,234円(前年比107.5%)、総販売金額1億6,919万439円(前年比109.5%)。

議事は、4年度活動報告、5年度事業計画など全議案原案通り可決されました。役員改選では、勝本町の坂口朗則さんが部会長に就任されました。



10%当り販売金額最優秀賞の岡部政昭さん

5年産にむけて、吉岐農業の施設園芸の重点品目として、より一層の品質向上と収量拡大を図り、強い産地作りに励み、品種を問わず研修会、交流会などに部会員全員が積極的に参加できる環境を作ることで、部会員の結束と相互研鑽を進め、魅力ある組織作りを行っていきます。

いちご部会 親元芳繁部会長コメント

4年ぶりに総会、研修会を開催することができ嬉しく思います。本日の会が充実したものであり、今後も部会の結束と、強い産地作りを目指してまいります。

JA 吉岐市組合長表彰	10%当り販売金額	👑1位	岡部政昭・明美様
		👑2位	大久保和真 様
		👑3位	親元 芳繁 様
	総販売金額最優秀賞	Strawberry Gang 代表 米倉寛健 様	
	支部共励賞	石田支部	
吉岐市長表彰(躍進賞)	中尾誠・辰代 様		
部会長表彰	市山清治・久代 様		

箱単価 3,600円+クレーム0を目指す

5年産は、生産者26名、作付面積233.0㍍(前年比99.2%)で栽培。反当箱数392箱(前年比92%)、箱単価3,538円(107%)、総販売金額3,248万6千円(前年比99%)となりました。

栽培面積の減少によりイベント販売は行わず、宅配を中心に5月30日より出荷を開始。玉階級は5玉中心で推移し、6月24日に終了しました。総出荷総数9,136箱(前年比91%)でした。

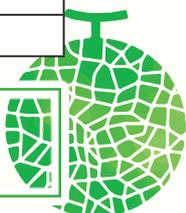


組合長賞と吉岐市長賞受賞の大久保さん、孫の和真さんが代理受賞

JA吉岐市組合長表彰	10%当り販売金額	👑最優秀賞	大久保幸子 様
	支部共励賞	石田支部	
吉岐市長表彰(特赤秀比率最優秀者)	大久保幸子 様		
部会長表彰	平田一行・富子 様		

メロン部会 崎原光国部会長コメント

本日の出荷反省会が有意義なものとなり、収量拡大、品質向上を目指し取り組みましょう。





部会員の皆さん



目標会で規格を確認

ミニトマト部会

夏秋栽培産地の確立へ



所得安定化へ向けた経営モデルの実践を進め、新規参入者の確保と個別栽培面積の拡大を図り、夏秋栽培産地の地位確立により、販売高9千万円を目指します

所得向上へむけて

- 省力化向け有望品種の高収量生産技術の確立と普及により、個別栽培面積の拡大を図ります (目標：栽培面積 1.5 倍)
- ミニトマト + α の作付で年間所得を確保します

新規参入者増大へむけて

- 新規参入者の確保 目標：10人 (令和12年度まで)
- アパートハウスの「通い農業」による新規参入者の確保を図ります

10人当り経営試算表(令和12年度目標数値)

項目	金額・数値	備考
粗収益(販売金額)	2,250,000	3,000kg × 750円/kg
費用	種苗費	260,000
	肥料農薬費	122,000
	諸材料費	320,000
	流通出荷経費	538,000
費用計	1,240,000	
差引所得	1,010,000	
所得率	45%	
労働時間	600hr	
時間当り所得	1,680円/hr	

作業体系

◆：定植 ■：収穫

作型区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
夏秋栽培	■						◆◆		■	■	■	■



江川満部会長

一緒にミニトマトを作ってみませんか！

ミニトマト部会は、アムスメロンの後作のオールスメロンに代わる作物としてスタートした比較的歴史の浅い部会です。

発足当初は、部会員も多く新しい作物を広げようと盛り上がりおりましたが、現状は生産者・栽培面積とも減少傾向にあり苦戦しています。

定植を7月に行い、8月後半から12月までの収穫で加温をしない抑制栽培で、自ら受粉する品種の採用や共同選果を行うなど労力の軽減にも努めています。また、新規でも取り組みやすいように栽培技術のマニュアル化やアパートハウスの活用等も進める計画です。

ミニトマトを、彩を添える脇役食材からメイン食材として選んで貰えるような更なる品質向上を目指し、壱岐農業の中においてもメイン部会となるよう皆様と共に今後も努力して参ります。

つや姫出発式 8月28日

出発式を契機に米の生産に更なる意欲を

芦辺町の深江農業倉庫で、同JAとつや姫生産部会（豊坂敏文部会長）は、今年初出荷のつや姫を乗せたトラックの出発式を行いました。生産者、関係機関等約50名出席のもと行われました。

5年産つや姫は、生産者190名、栽培面積146haで栽培（前年比97.3%）。4月下旬を中心に田植えを開始、気温も高く推移し活着後も良好に進みましたが、一部分けつ不足や追肥ができない圃場がみられました。出穂は、若干早く7月14日～20日中心となりました。収穫は、8月中旬から下旬に最盛期を迎え、650ト程度の収穫を見込んでいます。販売単価7,800円/30kg、全量1等を目指します。

式では、主催者挨拶や来賓祝辞のほか、情勢報告が行われた後、初出荷のつや姫を乗せたトラックの前でテープカットが行われ、出席者の見送りを受け出発しました。また、新米おにぎりの配布も行いました。

当JAの川崎裕司組合長は「28日（つや姫）の日に、生産者はじめ、各関係機関多くの出席を頂き出発式を開催できたことを嬉しく思う。本日（つや姫）初検査500袋すべて1等となった。今日の出発式を契機として米の生産に意欲が高まり、第9次営農振興計画の一つの品目として必達できるよう振興に励んでほしい」と想いを述べました。



つや姫を乗せたトラックの前でテープカット

長崎県営農指導員活動事例発表大会 7月28日

農産園芸課

松嶋新係長

最優秀賞受賞

九州大会へ

県下JAにおける営農指導事業への取り組みについて相互に交流を行い、営農指導事業の促進に努めるとともに、営農指導員相互の連携強化を図ることが目的。県下5JAの代表者が日頃の営農指導で実践する特色ある事例を発表しました。

松嶋新係長は「めざそう！アスパラ主導で離島農業日本一へ」と小さな島の大きな挑戦」と題し、当JAが第9次営農振興計画の販売高100億円達成にむけて主要品目のアスパラガスの取り組みについて、現状の課題、3つの挑戦、取り組みの成果などをまとめました。

8月28日の当JA理事会において発表を披露し、川崎組合長より表彰を受けました。

松嶋係長は「営農振興計画100億について、川崎組合長の言葉を借りますと『目標のないところには計画もたたない、計画のないところには達成もない。』と私も思っています。色々なご意見をいただきますが、できないではなく、どうしたらできるだろうか等日々考え、営農の発展、若者が希望をもってできる農業の実現を目指し一緒に取り組みたい。次は九州大会、県下JAを代表して営農指導に関する思いを伝え、全国大会を目指したい。そして100億達成の折には成果を発表したい」と力強く意気込みを語りました。



堂々と発表する松嶋係長



川崎組合長より表彰を受ける松嶋係長

《表紙紹介》

我が家のあいどるたち



しながわ
品川 こうたろう
晃太郎 くん(14)
ひかり
日香梨 ちゃん(9)
まさき
昌輝 くん(7) 勝本町布気触
あき
曜菜 ちゃん(5)

お父さん：幸司さん お母さん：明日香さん

晃太郎くんは、野球のため、日々体力づくりを頑張っています。日香梨ちゃんは、大好きなバレエとピアノに夢中です。昌輝くんは、元気いっぱい的小学1年生!! ひらがなや数字の勉強を頑張っています。曜菜ちゃんは、家族のアイドルです。ピアノやダンスが大好きです。品川家は、毎日皆笑顔で賑やかに過ごしています。「いつもパワーをありがとう! これからも色々な事にチャレンジして大きくなって下さい」とご両親。



友だちの「わ」



白石彪雅さん
からバトンタッチ

笑顔を絶やさず、
仕事もプライベートも
頑張ります!



かわぞえ
川添 そうま
颯馬 さん(24)
芦辺町箱崎犬左右触

われら 後継者!



わきた
勝田 じん
迅 さん(18) 石田町山崎触

平成17年3月22日生 B型

食べ物がおいしい吉岐が大好きです!!

- Q. お仕事は?
A. 安川建設で働いています。お客様に喜んでもらえるように頑張ります。
- Q. チャレンジしてみたいことは?
A. 大型特殊免許と大型免許を取りたいです。
- Q. 休みの日は何してる?
A. 友達とドライブに行ったりしています。
- Q. 吉岐の好きなところ♪
A. 海が綺麗なところです。
- Q. 農業との関わりは
A. おじいちゃんがお米を作っています。
- Q. 理想の女性は?
A. 優しくアウトドアな方です。

水稻

【適期収穫の実施】

10月上旬～中旬にかけて、にこまるの成熟期を迎えます。出穂後、45日頃が目安の時期となります。収穫適期は黄化籾割合で85～90%（不稔籾は除く）となった時期です。

早い収穫⇒充実不足による品質低下や収量減につながります

遅い収穫⇒胴割れ粒や茶米、発芽米等による品質低下や、収穫ロスによる収量低下につながります

※秋ウンカによる坪枯れが発生した際には、収穫可能な時期に達している場合速やかに収穫を実施して下さい。

【適正乾燥の実施】

過乾燥は、胴割れ粒の原因となりますので十分注意して下さい。

掛け干しは天候・圃場により乾燥程度が異なりますので、圃場ごとに水分測定を実施し、14～16%前後で脱穀作業を実施して下さい。

【早期落水の防止徹底】

あぜざわを中心に、枯れ熟れが目立っています。早い落水は収量・品質低下につながりますので、収穫7日前を目途に実施しましょう。（担当：農産園芸課 下條）

秋カボチャ

9月下旬から10月にかけて果実肥大期に入ります。玉肥大と品質向上に向けた管理作業を行いましょう。

○管理作業のポイント

【追肥】

品種名	追肥の時期	追肥資材	施用量
くり将軍	開花前～	BB追肥名人	30kg/10a
プリメラ			
えびす	開花(着果)後～		

【灌水】

着果後約25日で重量の約90%に達します。この時期に乾燥状態が続くと玉肥大に影響を及ぼすので、灌水に努めましょう。

【草勢管理】

くり将軍は蔓の太さを人差し指よりやや太い程度、着果節付近の葉の大きさは35cm程度が理想です。（プリメラは30cm程度）

蔓先にかけて葉が段々と小さくなっている場合や蔓が細くなっている場合は葉面散布等で草勢の回復を図りましょう。

【病害虫防除】

開花期以降、晴天が続く、着果負担が加わってうどん粉病が発生しやすい状況です。被害が拡大する前に治療効果のある薬剤で防除しましょう。

薬剤名 ジーファイン水和剤 1,000倍
トリフミン水和剤 3,000～5,000倍 等

【適期収穫】

貯蔵出荷の場合	交配日	収穫日
	9/1 交配	10月上旬頃
	9/10 交配	10月下旬頃

※交配日を必ず確認しましょう。

☆貯蔵出荷の必須事項

収穫7日前～直前に腐敗防止のため、アリエッティ水和剤（400～800倍）を散布して下さい。

（担当：農産園芸課 長岡）

この面に記載の事項についてのお問合せは

営農センター（0920-45-3805）までお願いします。

大麦

【集荷指定品種】

はるか二条

★品種特性表

品 種	出穂期	成熟期	稈 長	穂 長
はるか二条	3.18	5.7	81cm	6.8cm

【排水対策について】

排水対策が重要となりますので、水田での作付では特に弾丸暗渠や圃場周辺の明渠設置により排水を向上させるよう心掛けて下さい。

【施肥基準】

土壌改良材：粒状苦土石灰 60kg～100kg/10a
基 肥：BB 沓岐 284 40kg/10a
追 肥：BBNK 2号 1回目、2回目ともに 20kg/10a

【播種適期及び播種量】

播種適期：11/10～25

基準播種量：条播（畦間30cm）⇒8kg、散播⇒12kg

※止むを得ず遅播きする場合は、茎数確保のため播種量を10～20%増量して下さい。（担当：農産園芸課 下條）

大豆

10月後半～11月初旬にかけて成熟期を迎えます。カメムシ等の吸汁被害を受けた株は青立ちの発生につながります。黄変・落葉が始まる前に圃場を確認し、カメムシの発生が見られる場合は早急に防除を実施して下さい。

コンバイン収穫を委託希望の場合は、必ず『青立ち株』及び『雑草』の抜き取り作業を事前に実施して下さい。

（担当：農産園芸課 下條）

にんにく

9月下旬～10月中旬までが植付時期となっています。

植付から初期管理作業を遅れないように実施し、越冬前の樹作りに努めましょう。

【元肥施肥基準（10a当たり）】

資材名	施用量
堆肥	3,000kg
粒状苦土石灰	100kg
苦土重焼りん	20kg
BB48	100kg

【種子消毒】

黒腐・菌核病対策として、植付前にベンレートT水和剤20を種子粉衣（湿粉衣・種子重量の1%）し、乾燥させましょう。

【植付作業】

条間40～60cm、株間8cm、約20,000～30,000株/10a

リン片の発芽部を上にして、植付深さが3cm程度になるよう植付しましょう。

【除草剤】

薬 剤 名	10a基準量	使用時期	使用回数
トレファノサイド乳剤	300ml	植付後（但し、	2回以内
トレファノサイド粒剤25	5kg	収穫90日前まで）	

【管理作業】

1株から2芽以上出た場合は、生育の良い方を残して付根から摘み取って下さい。

【中耕・追肥】

萌芽後（11月上旬）除草を兼ねて1回目の中耕を浅く実施しましょう。2回目は12月上旬頃に追肥と併せて実施します。（担当：農産園芸課 齋藤高史）

ブロッコリー

10月上旬から中旬にかけて5型の定植時期となります。
例年10月は降水量が少ない傾向にありますので、定植後に灌水し、活着促進と生育遅延がないように管理しましょう。

【追肥】

作型	1～2型	3～6型
1回目	定植後15～20日頃 NK2号(20kg/10a)	定植後15～20日頃 BB239号(20kg/10a)
2回目	出蕾期 NK2号(20kg/10a)	定植後40日頃 BB239号(20kg/10a)
3回目		出蕾期 BB239号(20kg/10a)

【中耕・土寄せ】

除草・倒伏防止を兼ねて、1回目及び2回目の追肥の際に実施しましょう。

【共通】

水田裏作での取組み圃場は、湿害対策として排水路の整備を必ず実施しましょう。
(担当：農産園芸課 齋藤喬史)

スナップエンドウ・秋いんげん

《年内採りスナップエンドウ・いんげん》

草勢維持のため、開花後から適宜に葉面散布及び追肥を実施する。

葉面散布 メリット青 500倍
追肥 BB追肥名人 20kg/10a
収穫遅れは草勢低下が著しく、減収になりますので、採り遅れがないよう若莢での収穫に心掛けましょう。

(担当：農産園芸課 斉藤俊介)



令和5年産民間流通米県域共同計算にかかる経費目標額

令和5年産民間流通米共同計算の経費につきましては、次のような目標を設定し、経費削減に努めます。

(単位：円/60kg(税込))

区分	内容	金額	備考
支出	流通・保管等に係わる経費	178	
	支払運賃	107	県内外取引先配送運賃
	集約保管等経費	20	集約保管運賃
	保管料・入出庫料等	43	
	安全安心等検査費用	8	残留農薬分析・米穀検定料
	事故処理経費	2	
	全農手数料	187	全農手数料
	生産・集荷・販売等に係る経費	132	
	JAへの支出経費	9	拡販イベント
	広告宣伝費等経費	123	TVCM・卸拡販イベント・拡販広告資材
	県産米推進協議会等経費	6	
	監査委員会費用	1	
	合計	506	

(注)端数を四捨五入しているため、合計値と内訳が一致しない場合があります。なお、上記の金額は県域共同計算における経費目標額であり、JA段階での経費は含まれておりません。

菜の花

9月上旬から10月中旬までが播種時期となっています。
作業遅れがないようにし、品質向上・出荷数量の向上に努めましょう。

◎栽培ステージ ○-○ 播種 □□□ 収穫

	9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
早生	○			○						□	□	□	□	□	□	□	□	□
晩生		○			○								□	□	□	□	□	□

施肥・播種

●圃場の選定 日当たりが良く、排水の良いところ。
(排水対策は十分に)

※施肥量(10a当り)

BB284 40～60kg BMようりん 40kg 苦土石灰 100kg

【注意】施肥については、圃場の地力により加減する。
窒素肥料が多すぎると、莖が太くなり品質が低下します。

●作式 うね幅 80cm～100cm×通路 50cm

●播種 [1a当り] 1dl～2dl(1dl:約20,000粒)

ばら播きで、軽く覆土する。

●'伏見ちりめん88号'は莖が太くなりやすい為、やや厚めに播種する。

間引き

●特に混み合っている場所は、本葉2～3枚の頃に間引きする。

追肥

●生育(草丈20cm頃)を見ながら追肥する。
[NK化成C2号:20kg前後/10a]

病害虫防除

※コナガ・ヨトウムシ・アブラムシ

アディオン乳剤 2,000倍 6回以内

オルトラン水和剤 1,000倍 5回以内

パダンSG水溶剤 1,500倍 3回以内

ノーモルト乳剤 2,000倍 1回以内

※黒腐病・軟腐病

カスミンボルドー 1,000倍 3回以内

※白さび病

アミスター20フロアブル 2,000倍 2回以内

収穫

●頂花の蕾が色づき開花直前になった時に収穫する。

(担当：農産園芸課 斉藤俊介)

令和5年度 JA 吉崎市青年部 1分間CM動画コンテストを実施!!

JA吉崎市青年部では、毎年各支部で1分間CM動画を作成しています。
今年は3支部(武生水・初山・石田)が作成しました。作成された作品を
JA吉崎市公式YouTubeチャンネルで公開します♪
さらに!! **皆さんの投票で今年のNo.1作品**が決定します!
※投票は下記のGoogleアンケートフォームからお願いします。
各作品は下記のQRコードをスキャンすることで視聴できます。



公開期間 令和5年9月28日(木)～

投票期間 令和5年9月28日(木)～ 令和5年10月31日(火)まで

各支部の作品介绍

武生水支部

『～学童農園で見る子供たちの笑顔～』



←
動画は
コチラ

初山支部

『農業の可能性』



←
動画は
コチラ

石田支部

『農を未来に繋げる活動』



←
動画は
コチラ



たくさんのご視聴・ご投票をお願いします

投票方法はコチラ

コンテストの投票はGoogleアンケートフォームからお願いします。

- ①右のQRコードをスキャン
- ②アンケートより支部を選択
- ③送信ボタンを押すと投票が完了となります。

Googleアンケート
フォームはコチラ→



国会議員へ緊急要請 農政問題懇話会

長崎県農政連盟は、8月下旬長崎市で農政問題懇話会を開催し、当JAの川崎裕司組合長、米倉浩太青年部長(青年理事)が出席されました。

子牛価格の下落で経営危機にひんする繁殖農家救済のため、県選出の国会議員に対し、セーフティーネット拡充や牛肉消費拡大対策などを求めた他、物流2024年問題への対応や農協改革の再検証、JAの要望などをまとめた重点7項目。国会議員からJAグループとさらに連携を深め、農業振興に向けた対応を進めるとの回答がなされました。



秋の味覚新米つや姫販売開始

今年もおいしい新米の季節がやってきました。JA吉崎市が運営する両直売所では長崎県の子育て支援策である『お米de子育て支援』の『長崎県産米限定お米券』も利用できます。この機会にご活用いただき、子供たちに吉崎の美味しいお米をたくさん食べてほしいですね。
(田原 靖子)

